

JAWRO Girls' Lunchに参加して ～一見さんでも大丈夫でした！～

北里大学医学部放射線科学（放射線腫瘍学） 小森承子

2015年4月19日の日曜日、日本医学放射線学会総会に併せて開催されたJAWROのGirls' Lunchに参加しました。実は1月に入会したばかりで、一步踏み出そうと参加申し込みをしたものの、他施設に知り合いの先生も少なかったので、行く前まではかなり緊張していました。幹事の先生にも「あまり知り合いの先生がいないのですが、参加しても大丈夫でしょうか？」などと面倒くさいメールを出してしまいましたが、「知り合いのいないところに行かないと知り合いは増えません！」と、力強い、またとても納得できるお返事を頂き、参加させて頂きました。

場所は学会場近くの美味しいイタリアンのお店で、人数は20名弱だったかと思いますが、いつも学会で活躍されている先生方も沢山いらっしゃっており、ミーハーな私はわくわくしてしまいました。同年代の先生、若い先生も参加されており、良い意味でHeterogeneousな、バランスの良い集まりでした。

会が始まるとご高名な先生方も大変気さくに話しかけて下さり、あまり緊張することもなく楽しく会話が弾みました。お話を伺うと、重鎮の先生方は若手以上にパワフルにお仕事をされており、自分も頑張らなければという気持ちになりました。女性放射線腫瘍医のパイオニアである先生のお話、研修時代のお話、子育てのこと、また、現在感じていらっしゃるなど、なかなか聞けない貴重なお話を聞かせて頂きました。どの先生方も、とてもピュア（失礼！）で、お仕事のことを話される瞳がきらきらと輝いていて、先生方と同じ科を選んだことを誇りに思いました。同年代の先生、若手の先生とも交流でき、意外と身近に女性の放射線腫瘍医が沢山いることがわかり、励みになりました。

Girls' Lunchの前の総会ではなかなか会員数が増えないことが話題になっていました。一口に女性の放射線腫瘍医と言っても、タイプは様々で、仕事に対する考え方やモチベーション、できること、悩みなどはそれぞれ違うと思います。それは同じ年代でも様々であり、一人の人をとっても、置かれている環境や、自身のライフステージによって変わってくる可能性があると思います。どの様な形や程度であっても、自身のスキルや特性を活かして社会に貢献できることは必ずあるはずです。多くの会員がいればそれだけ色々な答えがあり、共通点のある人もいると思います。

放射線腫瘍医は少人数で働いている場合が多いと思います。女性に特有の問題・話題でも、そうでなくても、施設や年代を越えて繋がることができ、情報を交換できる機会があるのは有難いことです。JAWROを設立して下さった先生方に感謝致します。

少しでも心が動いた方は、ぜひ参加してみてください。きっと素敵な出会いがあるはずです。